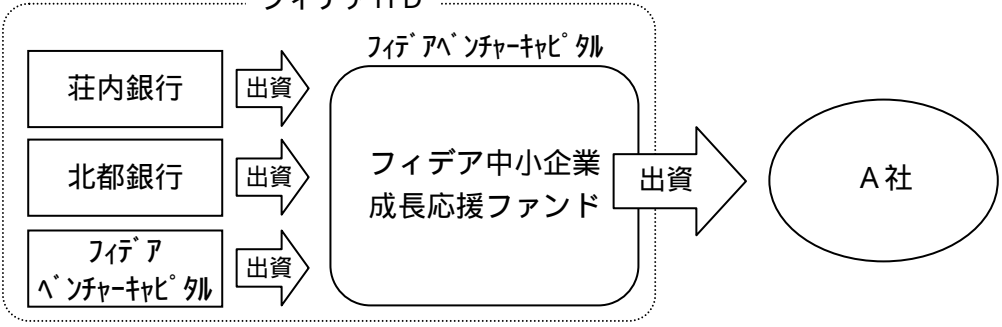


| | |
|-------|---|
| 銀行名 | 荘内銀行 |
| タイトル | 農業経営の規模拡大・法人化支援と資金融資の対応 |
| 取組み内容 | <p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の個人農家から、農業経営の規模拡大と法人成りを検討しているとの情報をキャッチ。 ・その後も訪問を重ねる中で当行へ以下の相談が寄せられた。 法人成りのメリット・デメリットについて 農業者向けの低利で利用可能な融資制度等について（規模拡大に伴う増加運転資金・設備資金に対応するもの） <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行の顧問会計士を紹介し、法人成りのメリット・デメリットに関して、助言いただいた。 ・増加運転資金については、県制度資金の「農業近代化資金」、設備資金については日本政策金融公庫の「スーパーL資金」を提案。 ・公庫資金の提案にあたっては、公庫担当者と連携し帯同訪問を実施。 ・資金提案のみに留まらず、事業計画書の作成支援や、利用できる利子補給・助成制度を提案して支援を行った。 <p>【お取引先にとっての効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行が紹介した顧問会計士のアドバイスにより法人を設立。 ・各種認定や、利子助成の承認を受け、農業信用基金協会保証のうえ、増加運転資金として農業近代化資金を実行。 ・設備資金については、当行を窓口とした公庫資金の融資を予定し、現在も取り組み中。 ・当行としても、農業融資にかかるノウハウの蓄積により、農業者の資金需要に対する提案の幅が拡大。 |

| | |
|-------|---|
| 銀行名 | 荘内銀行 |
| タイトル | インドネシア進出サポート及び成長ファンドを利用した企業支援 |
| 取組み内容 | <p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引先 A 社は、自動車部品メーカー B 社を主力取引先とするメッキ処理を手掛けているが、主力取引先 B 社のインドネシア進出に伴い受注減が予想されること、また、国内における業界の先行きに不透明感があることから、成長著しい海外の需要を取り込むため、インドネシア進出を計画している旨の相談を受けた。 ・小規模事業者である取引先 A 社にとって、海外進出するためには海外ビジネスに精通した人材やノウハウが必要であったことから、当行営業店、本部が一体となり、プランニングの段階からきめ細かい支援を実施している。 ・また、海外進出と同時に国内取引の強化・拡大のため、特に県外企業等の開拓にあたっては、もう一段の信用力の強化が必要であったことから、当行が出資している「フィデア中小企業成長応援ファンド」を活用して出資を行った。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業基盤整備機構の F / S（フィービジリティ・スタディ）支援事業の活用及び提携金融機関等との連携による支援 中小企業基盤整備機構の F / S 支援事業に関しては、申請書作成支援のほか、現地 F / S へも同行し、市場・需要調査を実施するとともに、複数の工業団地・物件を視察、現地コンサルタント会社とも面談を行った。また、会社設立及び進出後のスムーズな事業運営の為、提携金融機関と連携し、インドネシア投資調整庁（ジャパンスク）へ紹介を行った。 ・当行が出資している「フィデア中小企業成長応援ファンド」による A 社に対する出資ファンドによる出資のスキーム  <pre> graph LR subgraph Fidea_HD [フィデアHD] Fidea_Bank[荘内銀行] Hokuto_Bank[北都銀行] Fidea_VC[フィデアベンチャーキャピタル] end Fidea_Bank -- 出資 --> Fidea_Fund Hokuto_Bank -- 出資 --> Fidea_Fund Fidea_VC -- 出資 --> Fidea_Fund subgraph Fidea_Fund [フィデア中小企業成長応援ファンド] Fidea_Fund_Box end Fidea_Fund_Box -- 出資 --> A_Sha((A社)) </pre> <p>【お取引先にとっての効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ F / S 支援事業に採択されたことにより、事前のマーケットや投資環境等の調査が十分に行われたことや、今後も現地に精通した専門家からの支援等が継続されることから、スムーズな現地法人の設立と事業展開が期待される。 ・また、当ファンドからの出資を受けたことにより、A 社の信用力向上に繋がり国内取引の強化・拡大に繋がった。 |

| | |
|-------|--|
| 銀行名 | 荘内銀行 |
| タイトル | 取引先の台湾向け商品輸出にかかる代金回収サポート |
| 取組み内容 | <p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引先 A 社は、山形県特産果実のフルーツデザートを主力商品とする食品メーカーで、アジアを中心に海外向け販路拡大にも積極的に取り組んでおり、山形県等が主催する各種海外商談会へ継続して参加している。 ・こうした中、当行と業務提携をしている(独)日本貿易保険(NEXI)の担当者と当社を帯同訪問し、貿易保険のスキームを案内したところ、台湾での商談会出展に向け、現地バイヤー企業 B 社との商談が進展しているとのことだった。 ・しかしながら、支払については、B 社から後払い条件との取引提案を受け、代金回収面で一抹の不安を抱えている旨相談があった。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行では、NEXI による現地取引先企業の信用調査の活用を提案し、B 社の信用調査を実施。結果、B 社が、貿易保険の引受対象として適格であることを確認したうえで、現地商談会に参加し、取引成約に至った。 ・その後、取引先 A 社は NEXI と「中小企業輸出代金保険」を契約。当該案件は、NEXI と提携する東北地区地銀が取り次いだ第 1 号成約案件となった。 <p>【お取引先にとっての効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代金回収面の不安を抱えることなく商談に専念し、海外企業との新規取引が実現した。 |

| | |
|-------|---|
| 銀行名 | 荘内銀行 |
| タイトル | 荘銀・ジェトロ・NEXI アジアビジネスセミナーの開催 |
| 取組み内容 | <p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国一極集中リスクが顕在化し、ASEAN シフトがクローズアップされている中、最新の中国のビジネス環境やチャイナプラスワンとしてのASEANの行方と課題等について、実際の中小企業の海外ビジネス事例等を交え有益な情報提供を行うことを目的に開催。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> セミナー概要： <ul style="list-style-type: none"> 開催日時 平成 25 年 7 月 17 日（水）13:30～17:00 開催場所 山形市内 主催 荘内銀行、ジェトロ山形、日本貿易保険（NEXI） 後援 山形県、山形県国際経済振興機構、フィデア総合研究所 演題（三部構成） <ul style="list-style-type: none"> 第一部「変化する中国と進出日系企業の最近の事業環境」 講師派遣元：みずほコーポレート銀行 中国営業推進部 第二部「チャイナプラスワン、タイプラスワンの現状と日系企業のビジネスチャンス ～メコンエリアを中心に～」 講師派遣元：(独)日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部 第三部「中小企業のアジア展開とリスクヘッジ」 講師派遣元：(独)日本貿易保険（NEXI）営業第一部 営業企画グループ 中小企業支援・地銀等連携チーム <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元中小企業や行政等の関係者約 60 名が出席し、中国や ASEAN を中心としたアジアのビジネス環境等について理解を深めて頂いた。 主な内容としては、低コスト生産基地としての中国拠点の機能見直しの動きがあること、ASEAN では消費市場の拡大、FTA による市場の一体化が進展する一方で、人件費の上昇や法制度の不透明な運用等のリスクが顕在化していること、また、その対応策として、制度の正確な理解や、日系企業同士の情報交換等が不可欠であること、貿易、投資にかかるリスクヘッジ手段としての「貿易保険制度」の活用事例の紹介等であった。 参加者からは、各専門家による多方面からの報告、アドバイス等が非常に参考になったとの高い評価を頂いた。 地元企業の海外ビジネス展開については、引き続きタイムリーな情報発信を継続し、具体的ニーズの発掘や個別企業（案件）のサポートにつなげていきたい。 |

| | |
|-------|--|
| 銀行名 | 荘内銀行 |
| タイトル | 「荘銀かねやま絆の森」における森づくり活動 |
| 取組み内容 | <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 3 月に山形県・山林業者・当行との間で三者協定を締結し、「荘銀かねやま絆の森」の森づくり活動を開始した。 ・今年 4 月の活動は、同じ金山町で森づくりに取り組む地域の企業との合同企画として、計 5 社が参画し、金山杉の皆伐見学や、金山杉のプランターづくりを行い、制作したプランターを金山町に寄贈した（今年 10 月に金山町で開催される全国育樹祭で使用予定）。 ・本活動の目的は、森林・自然環境の保全や環境への役職員の意識を高めるだけでなく、参画企業による地域コンソーシアムの形成、それに伴う環境ビジネスノウハウの収集・取組支援にも繋がっていくものと捉え、今後も活動の場の拡大を図っていくこととしている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |

| | |
|-------|---|
| 銀行名 | 荘内銀行 |
| タイトル | 旅行雑誌「るるぶ鶴岡（特別編集）」の制作 |
| 取組み内容 | <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 6 月から始まった山形デスティネーションキャンペーンに併せ、観光振興による地域産業の活性化を図るため、当行本店所在地である鶴岡市並びに(株)JTBパブリッシングと連携し、当地の観光情報を特集した旅行雑誌「るるぶ鶴岡（特別編集）」を 5 万部製作した。 ・当行は企画から資金援助までトータル的に参画し、当行本支店では 1 万部を無料配布した。 ・(株)JTB 東北とは「観光振興に係る連携協定」を締結し、当社が保有する観光に対する経験やノウハウと、当行が保有する地域情報や金融プロダクツなどを組み合わせることにより、更なる観光振興、地域経済の活性化に取り組むこととしている。なお、(株)JTB 東北との連携協定締結は東北の金融機関では初めての取組みとなった。  |

| | |
|-------|--|
| 銀行名 | 荘内銀行 |
| タイトル | 地元プロスポーツチームのスポンサー支援や各種大会の開催 |
| 取組み内容 | <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行はスポーツを通じた地域活性化に積極的に取り組んでおり、野球振興においては、地域の企業と共同で中山公園野球場（山形県野球場）のネーミングライツを取得（平成 29 年まで）。 ・また、当行は楽天イーグルス公式スポンサーとして「楽天イーグルス応援定期預金」や「楽天イーグルス 日本一おめでとう！定期預金」を販売するとともに、プロ野球公式戦「荘内銀行ナイター」や楽天のコーチを招いた野球教室を開催した。 ・サッカーを通じた地域活性化への取組みでは、山形県を本拠地にするモンテディオ山形の公式スポンサーとして「スポーツ応援定期預金 モンテディオ山形熱血応援団 2014」を販売したほか、店頭スタッフがモンテディオ山形のレプリカユニフォームを着用して業務を行う「モンテディオ山形ユニフォーム着用応援デー」を実施するなど、地域の皆さまと共に熱い声援を送っている。 ・その他にも、山形県少年選抜 U - 10 のサッカー大会である「荘内銀行頭取杯」や、「荘銀カップ争奪 西村山地区ジュニア卓球大会」も開催している。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> |

【 環境保全への取組み 】

県内各地のクリーン作戦に参加



鶴岡地区クリーン作戦



酒田地区クリーン作戦



蔵王クリーン作戦(山形)

第38回全国育樹祭を応援しています。



育樹祭の開催PR (荘銀かねやま絆の森)



フランターを製作
金山町に寄贈!

荘銀かねやま絆の森

【平成26年度の活動】

4月5日(土)に、同じ金山町・林業パートナーで森づくりに取り組む企業との合同企画として、当行を含め県内企業5社の役職員・家族などが雪山ハイクや金山杉の皆伐体験に取り組んだほか、製材所見学や木工クラフト体験にも取り組みました。



かんじきで雪山ハイク



フコの伐採現場を見学



伐採したスギの枝打ち体験



製材所見学



森の感謝祭2013・育樹祭フレイブントでブース出展



- 【平成22年度】4月: 荘銀かねやま絆の森 開山式。10月: スギの苗木1,500本の植林など
- 【平成23年度】4月: キノコの植菌、まち並み・環境学習会。10月: 裾枝打ち、木工クラフトなど
- 【平成24年度】5月: 下刈り、まち並み学習、環境学習会、9月: 遊歩道整備、ピースオフフォレストなど
- 【平成25年度】5月: 下刈り、まち並み学習、地域活性化学習会。10月: 裾枝打ち、自然観察、交流会など

環境配慮型店舗の設置

太陽光発電設備を備えた店舗をオープン
(ときめき通り支店、あかねヶ丘支店)



環境保全団体への助成(やまがた社会貢献基金への寄付)

やまがた社会貢献基金に対して平成25年から3年間に渡り寄付を行い、環境保全に取り組む団体を支援します。テーマを「荘内銀行 次代につなぐ山形の豊かな自然」とし、「森」、「川」、「海」と川上から川下へとつながる山形県民の活動を支援していきます。



25年度は、全国育樹祭のフレス活動「金山みどりいっばい緑化事業」と「ECOハウス設置プロジェクト」に助成を行いました。
7月28日に金山町で開催された第38回全国育樹祭フレイブントのセレモニーにおいて、目録を贈呈させていただきました。

ATMの省エネ対応

当行の全ATMには「省電力対応モード」が設定されており、電力需要の削減に協力しています。

【 地域活動団体への助成 】



荘内銀行ふるさと創造基金

- ◆ 真に豊かで潤いのある地域社会を築くため、公益信託荘内銀行ふるさと創造基金を設置し、自発的活動に助成金を贈呈しています。
- ◆ 平成13年に創設して以来、着実に実績を積み重ね、少しずつではありますが、地域に浸透し、頼りにされる基金になりつつあります。

<助成の対象となる事業>



学校教育活動



社会教育活動



文化活動

これまでの助成件数(応募件数)

| | | | |
|--------|----------|--------|-----------|
| 平成13年度 | 16件(48件) | 平成20年度 | 42件(104件) |
| 平成14年度 | 13件(67件) | 平成21年度 | 33件(75件) |
| 平成15年度 | 17件(47件) | 平成22年度 | 41件(121件) |
| 平成16年度 | 22件(78件) | 平成23年度 | 39件(109件) |
| 平成17年度 | 28件(79件) | 平成24年度 | 37件(117件) |
| 平成18年度 | 31件(73件) | 平成25年度 | 42件(142件) |
| 平成19年度 | 37件(92件) | 平成26年度 | 47件(113件) |

- 新たな「地方の時代」に向けて、県内各地域の特性を活かした、自主的・主体的な取組みを応援しています。
- 基金の創設以来、県内各地の団体より1,265件ものご申請をいただき445先に総額9,385万円の助成を行なってまいりました。
- 平成24年度からは、これまで基金を助成した先の中から継続的・発展的な活動を行ってきた団体を顕彰する「荘内銀行ふるさと創造基金 地域貢献大賞」を新たに設立し顕彰を行っております。

【スポーツ振興の取組み】

楽天イーグルスを応援

山形県の野球振興に資するため、山形県野球場の**ネーミングライツスポンサー**を平成29年まで日新製薬(株)様と共同で取得しています。また、当行は楽天イーグルス公式スポンサーとして「**楽天イーグルス応援定期預金**」や「**楽天イーグルス 日本一おめでとう！定期預金**」を販売いたしました。

略称は、「**荘銀・日新スタジアム**やまがた」です



楽天イーグルスのコーチを招いた**野球教室**も開催



荘内銀行ナイターも開催！



モンテディオ山形を応援

モンテディオ山形と力を合わせ、山形県のスポーツ振興に取り組んでいます。公式スポンサーとして「**スポーツ応援定期預金**」**モンテディオ山形熱血応援団 2014**」を販売したほか、「**ユニフォーム着用応援デー**」への取り組みなど、地域の皆さまと共に熱い声援を送っています。



本拠地の村山地区19ヶ店では**ユニフォーム着用**して業務を実施！



当行が寄贈した**チームマスケット**「**モンテス**」のエアドーム

そのほかにも次代を担う青少年の健全な育成にお手伝いをしています。

「**荘内銀行頭取杯**」**山形県少年選抜U-10サッカー大会**



青少年の健全な育成と、将来のスターの輩出を期待しています。



荘銀カップ争奪 西村山ジュニア卓球大会

【地元産業振興・観光情報の発信】

「鶴岡るるぶ」発刊の企画・制作



観光情報誌「**鶴岡るるぶ**」は、観光振興を目的に、地域の産業界、金融機関(当行)、行政(鶴岡市)の協働により、平成26年4月に東北初の取組みとして制作されました。当行の県内外の80店舗でお手にとってご覧いただけます。

商談会等の開催



平成25年10月に地方銀行38行とともに「**地方銀行フードセクション2013**」を東京ビックサイトで開催し、640の企業・団体が出展し、国内最大級の「食の商談会」が行われました。

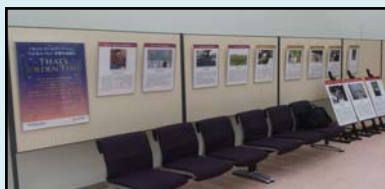


平成25年11月に当行は地方銀行9行などと「**東北・北海道6次産業化ビジネスフォーラム**」を開催し、87の企業・団体の出典があり、商談会などが行われました。

平成25年2月に地元企業の皆さまなどを対象に、成長著しい**ミャンマー**、**カンボジア**を視察する「**荘内銀行ミャンマー・カンボジア視察ミッション**」を実施し、24企業・団体が参加しました。

【文化振興の取組み】

ロビー展の開催



営業店では絵などお客様の作品を展示する**ロビー展**を各店舗で実施！

地域文化情報誌の発刊協力



地域文化情報誌「**Cradle:クレードル**」の発刊を支援。県内外の当行本支店で無料配布されています。

【地域行事への参加】

県内各地の行事への参加



おいやさ祭り(鶴岡市)



山形花笠まつり(山形市)



酒田港まつり(酒田市)



米沢上杉まつり(米沢市)



みちのく阿波踊り(山形市)



天童夏まつり(天童市)

県内各地で開催される地域の「祭り」に**グループ役職員400名以上**が参加し、地域の皆さまとのコミュニケーションを深めるとともに、地域の賑わい創出にも貢献しています。

【小さな親切運動の展開】

「**小さな親切の会**」の鶴岡支部では上記クリーン作戦のほか、以下のようないろいろな取り組みを行っています。



小学生バリアフリー教室を開催し、「親切」の心を育てる活動を行っています。



小さな親切を行った方には**小さな親切実行章**を贈呈！

【交通安全への取組み】

交通安全横断旗の贈呈



昭和43年より**横断旗**を寄贈し続けており、今年で47回目、寄贈合計は50万本を超えています。

